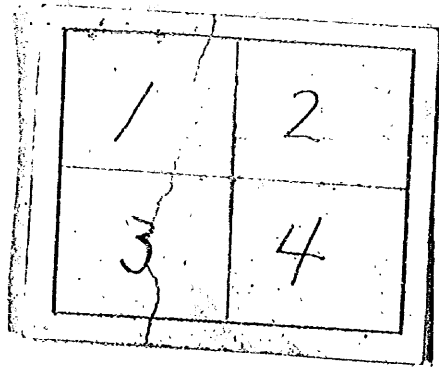


# 分割撮影ターゲット

分割した  
部分の  
撮影順序



分割撮影  
した理由

A 3 判 以 上 の た め

上記のとおり分割撮影した事を証明する。

0134  
0133  
0136

三〇軍第三九師團部隊名 歩兵第二一二三二聯隊(三)

通稱號 藤六八六五

郵便所名

全般概要		轉入	轉出	員人編編	別隊	隊長名	職人	駐屯地	戰鬥間の狀況及損耗	終戦後の人員變動	入ソノ人員	隊別計	滿洲殘留	收
作業大隊 九、五、六、六(四平) F〇無道南太大路以下 一、五〇〇名	九、七、七、六(樺太林) P〇金明大路以下、五〇〇名	十九年以降	十九年以降	員人編編	第八中隊	中尉 中尉 (内は先代を示す)	職人	安西 平四			作業大隊より 入ソノ迄の變動			
地方人(黒河、北安) 二〇〇	九、三、一、一六(西安) 以下、五〇〇名				第二中隊	中尉 中尉		西			九、一、二、二六(四平) P〇金明大路			
各作業大隊共黒河經由 「ソ」ナ					第三大隊本部	大尉 金明 泰敬 少佐 河津 康吉		時						
					第四大隊	中尉 中尉		時						
					第五大隊	中尉 中尉		時						
					第六大隊	中尉 中尉		時						
					第七大隊	中尉 中尉		時						
					第八大隊	中尉 中尉		時						
					第九大隊	中尉 中尉		時						
					第十大隊	中尉 中尉		時						
					第十一大隊	中尉 中尉		時						
					第十二大隊	中尉 中尉		時						
					第十三大隊	中尉 中尉		時						
					第十四大隊	中尉 中尉		時						
					第十五大隊	中尉 中尉		時						
					第十六大隊	中尉 中尉		時						
					第十七大隊	中尉 中尉		時						
					第十八大隊	中尉 中尉		時						
					第十九大隊	中尉 中尉		時						
					第二十大隊	中尉 中尉		時						

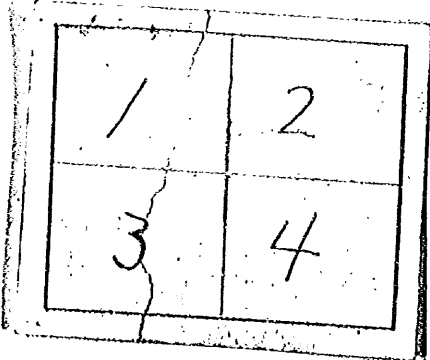
チタ地区  
シツブヘイゲン  
(五二二)  
山田大佐以下主力  
二二〇〇名  
(一九、一〇、二現)







# 分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	

0140

三〇軍第三九師團 部隊名 步兵第二一二三二聯隊 (四) 通稱 號 藤六八六五

郵便所名

全般概要  
 轉入  
 轉出  
 人員編成  
 別除  
 隊長名  
 戰鬥間の状況及損耗  
 終戦後の人員變動  
 作業大隊より  
 入ソ迄の變動  
 隊別計  
 入ソ人員  
 滿洲殘留

全般概要	轉入	轉出	人員編成	別除	隊長名	戰鬥間の状況及損耗	終戦後の人員變動	作業大隊より 入ソ迄の變動	隊別計	入ソ人員	滿洲殘留
					中尉 右川 健弘	七二二 關原 八八二 關原の歩兵連隊 八、一五、關原第一、八、二九、關原第二、 八、二九、關原第三	西安七中隊屬 一、桑田中尉以下	九一、二二二大 二二二大(西安分遣の一ヶ 小隊)七中隊(永中尉指揮)			
李行隊大											
隊小砲兵步											
隊中銃關機三第											
隊中二十第					中尉 右川 健弘						
隊中一十第					中尉 桑田 善						
駐屯地	開入	戦時	平時	戦時							
西					右 岡						
四					平 四						

チップヘイデン (第一二中隊)

隊名 歩兵第二二三二聯隊(四) 通稱 號藤六八六五

郵便所名

大隊	大隊	中隊	小隊	班	員数	備考
大隊	中隊	中隊	中隊	班	員数	備考
李行隊大	隊小砲兵歩	隊中銃機三第	隊中二十第	隊中一十第	別隊	
中尉 桑田 蕃			中尉 右川 俊也		隊長名 (内は先代を示す)	
		210	198 175	190	開人 戦員	
西		右同	右同	原調	駐屯地	
四		林木橋	平四	林木橋	戦間期の状況及損耗	
				七、二二 隊原簿、八、一 隊原簿のため 原簿、八、一五、隊原簿一ヶ小隊三〇名 八、二九 隊原簿		
				終戦後の人員變動		
				作業大隊より 入ソ一迄の變動		
				九、一 二二二大 二二二大(原簿分隊の一ヶ 小隊)七中隊原簿 入		
				入ソ人員		
				満洲残留		
				收容所名		
				テツアヘイゲン (第二二中隊)		
				收容所		
				死亡		
				満洲より 領計		
				歸還人員		
				状況不明者数		

西安七中隊  
一、九、九、中尉以下

三七

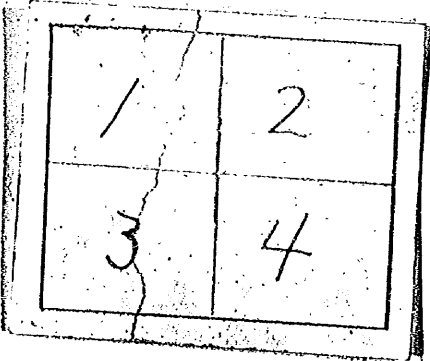
上述の隊より各作業大隊へ  
編入







# 分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	



隊名 歩兵第二二三二聯隊(五) 通稱 藤六八六五

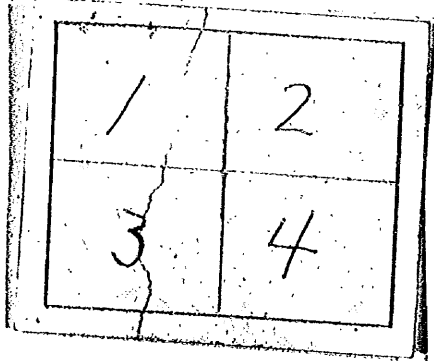
郵便所名

連	聯	隊	行	李	別	隊
					隊長名 (内は先代を示す)	大尉 桑本正花
					開入 人員	140
					駐屯地	安西
					戦時	林木場
					戦闘間の状況及損耗	
					終戦後の人員變動	
					作業大隊より 入ッ返の變動	(附) 連合中尉藤本大尉
					入ッ人員	140
					除別計	
					滿洲殘留	
					收容所	
					收容所名	
					歸還人員	
					歸還人員計	
					死亡	
					滿洲より 入ッ領	
					者數	
					状況不明	





# 分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	









隊中四第	隊中三第	隊中二第	隊中一第	部本一第
甲府 彦倉 陣	甲府 金谷 陣	甲府 三井 陣	甲府 瀬本 陣	公田 陣
右 同	右 同	右 同	右 同	右 同
城面八	右 同	右 同	右 同	右 同

牧野少佐將校大將へ

シテツクムシ  
(一) 彦倉 陣  
(二) 金谷 陣  
(三) 三井 陣

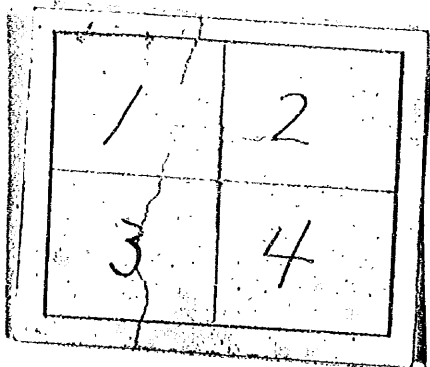
ウランウチ(三〇)

ゼリカノスク

アルマエタ(二、三、  
六、七、九)

カラカシダ

# 分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	

三〇〇軍第三九師團部隊名步兵第一二三三聯隊(二) 通稱號藤六八六六

郵便所名

全般概要

本中隊の一少隊は機銃隊  
進行隊隊

機銃として相當の隊除者有  
る機銃

九、三、三〇 新隊二大へ  
西平、及藤木林に於て作業  
大隊編成す

本隊要員は師團司令部へ、  
機銃の隊は各作業大隊の編  
成に入る

一〇、三〇 新隊二大へ  
八木大尉以下將校三名編入  
一〇、三〇 新隊二大へ

轉入  
十九年以降

轉出  
十九年以降

員人額編

隊別	隊長名 (内は先代を示す)	開人 時員	駐屯地	戰鬥間の狀況及損耗	終戦後の人員變動
第一機銃隊中隊	下村 秀吉	平四	林木橋		入隊 (一) 西平 隆一
大隊行隊	大尉 古木 佐一 (少佐 藤田 勝夫) 副官 花岡 少尉 花岡 少尉 木下 佐一	平四	林木橋		九、三、三二大へ(藤木林) P. 今井中佐一、二〇〇名
第二大隊本部	中尉 藤島 武彦	右同	右同		西平中隊機銃のため機銃大 隊へ 中隊の三分の一は第一中隊 と共に、三分の一は第六中 隊と共に、機銃は第二機銃 隊へ
第五中隊		160 (下士兵)	右同		九、四、一八名(藤島内地隊 還す(内一名死亡))
第六中隊	中尉 西川 隆	右同	右同		

作業大隊より  
入(ソ)迄の變動

入(ソ)人員  
隊別計

滿洲殘留

約130



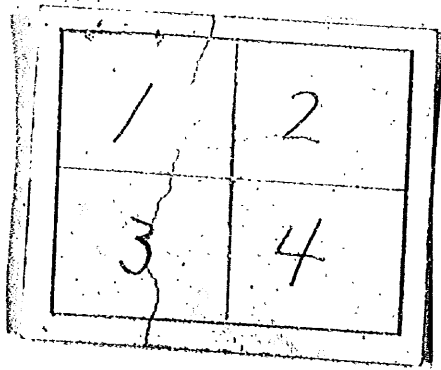






# 分割撮影ターゲット

分割した  
部分の  
撮影順序



分割撮影  
した理由

A 3 判 以 上 の た め

上記のとおり分割撮影した事を証明する。

三三〇軍第三九師團部隊名步兵第二二三三三聯隊(三) 通稱號藤六八六六

全般概要  
 轉入  
 轉出  
 十九年以降  
 十九年以降

員人編補

隊別	隊長名 (内は先代を不示)	開入 戦時 駐屯地	戰鬥間の狀況及損耗	終戦後の人員變動	作業大隊より 入ソ連の變動	入ソ連人員 除別計	滿洲殘留
第八中隊	中尉 高宮 采	平四 戦時 駐屯地 林木場	戰鬥間の狀況及損耗 約若干戦時中?	終戦後の人員變動	作業大隊より 入ソ連の變動	入ソ連人員 除別計	滿洲殘留
第二機關中隊	大尉 鈴木 附中尉 藤岡孝生 附中尉 堀行雄	右同					
步兵小隊		右同					
大行隊							
第三大隊本部	少佐 河村 清馬	平四 戦時 駐屯地 林木場					
第九中隊	中尉 坂本 義	右同					

郵便所名

隊名步兵第二二三三聯隊(三) 通稱號藤六八六六

郵便所名

隊中九第	部本隊大三第	李行隊大	隊小砲兵步	隊中銃機二第	隊中八第	別隊
	少佐 河村 清馬			大尉 鈴川 附中尉 藤岡孝生 下中尉 堀野...		隊長名 (内は先代を示す) 中尉 高宮 采
	平四			右同		駐屯地 平四 戦時 戦後 時
	右同			右同		戦斗間の状況及損耗 約要于裏に示す
	右同			右同		終戦後の人員變動
	九、二三、四、平十三大 河村少佐					作業大隊より入ソ運の變動
						隊別計
						満洲残留
						收容所名
						所入
						死亡
						満洲より領
						計
						歸還人員
						状況不明者数

隊 中 十 第	隊 中 九 第	部本隊大三第	李 行 隊 大	隊小砲兵步	隊中銃關機二第
中 山 正	中 山 正	少佐 河村 清馬			大尉 鈴木 附中尉 静間孝生 中尉 池田重三
右 同	右 同	平 四			右 同
右 同	右 同	林木揚			右 同

入  
交  
あ  
ら

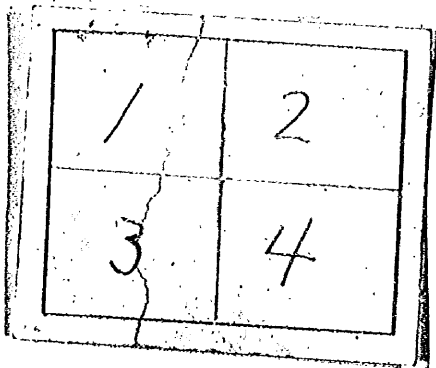
同  
右

同  
右

九、二五、四三十三大  
河村少佐



# 分割撮影ターゲット

分割した 部分の 撮影順序	
分割撮影 した理由	A 3 判 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	

三〇軍第二九師團部隊名步兵第一二三三聯隊(四) 通稱號 藤六八六六

郵便所名

全般概要						隊別
轉入						轉出
十九年以降						
十九年以降						員人編
通	大隊行	歩兵砲小隊	第三機關銃中隊	第二十中隊	第十一中隊	隊別
大尉 石原 幸人			中尉 藤本 杉次	中尉 藤本 杉次		隊長名 (内は先代を本す) 中尉 森 小石 徳夫
			167 { 上等兵 4, 下士 13, 兵 150 }		120	戰鬥間 人員 時數
平 四			右 同	右 同	平 四	駐屯地
林木場			右 同	右 同	林木場	戰鬥間 の 狀況 及 損 耗
			入隊あり			終戦後の 人員 變動
			同右	同右	九、二二、四、平十三大へ	作業大隊より 入ッ迄の變動
						隊別 計
						滿洲 殘留
						收

九、七、四、平六六  
ITL 全部編入  
ニ、原隊市本大隊一、五〇

ブラゴエ  
(通信中隊)





隊小馬乗	隊中信通	季行隊大	隊小砲兵歩	隊中銃騎橋三第	隊中二十第
少尉 井戸川光雄 一分隊(軍曹) 斎藤新 大迫 進	大尉 石原 幸人			中尉 藤本 枬次	中尉 磯村 長次
	125			187 { 将士 4 下兵 13 150	
右 同	平 岡			右 同	右 同
右 同	林本橋			右 同	右 同

九、三、武解府小隊長井戸川少尉以下一九  
名、先づ白旗山に向ふべく出陣、途中  
遭逢保安隊と交戦三十分にして陣出、後順  
調保安隊との交戦にて三名死亡、残一六  
名は大逃より二二、一、一歸還す

離隊逃亡なし

入隊あり

残者は入一ノチナク

九、七、四、平、六、大  
III 全部入  
○ 黒瀬市太夫一、五〇

同右

同右

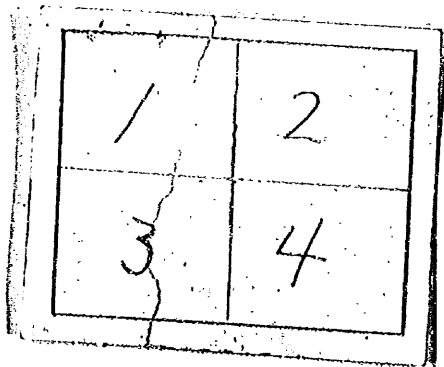
125

ブライエ  
(通信中隊)



# 分割撮影ターゲット

分割した  
部分の  
撮影順序



分割撮影  
した理由

A 3 判 以 上 の た め

上記のとおり分割撮影した事を証明する。

0104

三〇軍第三九師團

部隊名

歩兵第二三三聯隊(五)

通稱號

藤六八六六

郵便所名

全般概要

轉入 轉出  
十九年以降 十九年以降

員人別編

別隊

隊長名  
( )内は先代を示す

戰時人員

駐屯地

戰時

時

戰鬥間の狀況及損耗

終戦後の人員變動

作業大隊より  
入「ソ」迄の變動

隊別計  
入「ソ」人員

滿洲殘留

收

運送隊中隊	聯隊行幸	步兵砲中隊
少尉 上野	大尉 柴田 修藏	
右 同	平 四	
右 同	林木橋	

中隊より轉進時一ヶ小隊(三〇名)有物重  
運して有物列車に乗車出發せるも終戦時迄  
未到着

隊名	別隊	隊中砲兵歩	李行隊	隊中砲兵歩	別隊
步兵第一二三三聯隊(五)	隊長名 (内は先代を示す)	大尉 柴田 修藏	少尉 上野		
	開入 人員				
	駐屯地	平四	右同		
	戦時	戦時	右同		
	戦時	戦時	右同		
通稱號	藤六八六六	戦闘間の状況及損耗			
郵便所名	作業大隊より 入ソの變動	終戦後の人員變動			
	入ソ人員	隊別計			
	満洲残留				
	收容所	收容所名			
	所入	死亡			
	満洲ソ領	計			
	人員	者數			
	状況不明				



日本  
少原義

少尉  
上野

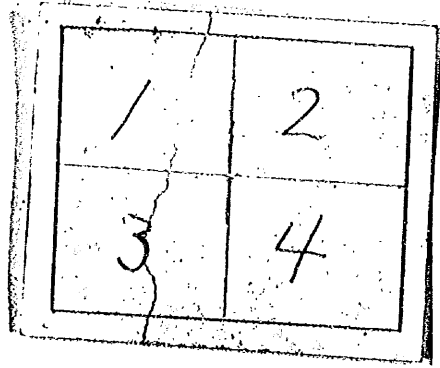
右 同

右 同



# 分割撮影ターゲット

分割した  
部分の  
撮影順序



分割撮影  
した理由

A 3 判 以 上 の た め

上記のとおり分割撮影した事を証明する。

三〇軍第三九師團部隊名 戦砲兵第三九聯隊

通稱號 藤六八六八

郵便所名

全般概要		一四、六、三〇 編下合 二〇、七、二〇 先鋒中村大尉以下四八五名 東条大尉 日「ソ」開戦の報に東条大尉 平野に内よる四平停水並 にて終戦を知る 二〇、九、二〇 田平被服河野由入「ソ」	
轉入	轉出	一九年以降 一九年以降 五二四、八、二 五二〇四、二 野五連 一九六名 其の他 七〇名	
員入編		932	
部隊別	隊長名	本部	大佐 佐野 芳藏 (内は先代を示す)
戦間人員	駐屯地	主力	大 中隊長 大尉 中村 以下 485 (馬 300) 東 實 平 岡 漢 口
戦闘間の状況及損耗		主力の行脚(部隊長佐野大佐供進) 中村大尉以下編組主力と出陣用、聯隊主力 は鐵道の輸送と空襲、ゲリラ襲撃により第 三の交歩に依るも轉送進歩の遅く二ヶ月半感 に待列す 二〇、七、二二 師團長より「師團は漢平 に到着、貴部隊は先づ漢平に前進すべし」 の電報を受けす 二〇、八、九、「日ソ開戦宣言は万端を神 し四平に前進すべし」の命をうけ野原武 江、津浦線沿いに北上するに決し、八、一 幸進出陣、八、一二 漢口に到着せりも 五十年來の苦闘により戦線は失前不前に 展る 二〇、八、一五、夕 支那鉄道軍令により 「貴部隊は幸進に前進すべし」との電あり 二〇、九、一四 幸進に及ばず完了し大 本營經由の電報を師團長に打電するも運送難	
終戦後の人員變動		作業大隊より 入「ソ」迄の變動 入「ソ」人員 隊別計 満洲残留	

名 戦砲兵第三九聯隊

通稱號 藤六八六八

郵便所名

別 隊 長 名 (内は先代を示す) 大佐 佐野 芳隆	部 本 第六中隊長 大尉 中村 以下	別 隊 員 485 (馬 300)	別 駐屯地 主力 560	別 駐屯地 東 實 四 平 漢 口	戰鬥間の状況及損耗 主力の行軍(部隊長佐野大佐供進) 中行大尉以下毎團主力と同後方、聯隊主力は鐵道の運輸と空襲、ケマラ部隊により部隊長の軍用全備、鐵道司令部に對する再三の交渉に依るも轉送遊歩地す約二ヶ月半迄に待期す 二〇、七、二二 師團長より「鐵道は四平に到着、貴部隊は先づ四平に前進すべし」の電報を受けす 二〇、八、九 「日ソ開戦宣言は万難を排し四平に前進すべし」の命をうけ再び文部、海兵隊は主力を京漢線一帯を揚子江、津浦線經由に北上するに決し、八、一、宇原田、八、一二 師團に到着せるも五十年来の舊習により鐵道損失前進不能に達す 二〇、八、一五、夕 文部鐵道軍令により「貴部隊は宇原に集結すべし」との電報あり 二〇、九、一四 宇原に集結準備完了し大本營經由の電報を師團に打發するも運送不能	終戦後の人員變動	作業大隊より入ソ運の變動	隊別 計	入ソ人員	滿洲残留	收容所名	收容所員	死亡	滿洲より領	計	狀況不明者數
----------------------------------	--------------------------	----------------------	-----------------	----------------------------	--	----------	--------------	------	------	------	------	------	----	-------	---	--------

REF ID: A61111  
SERIALS ACQUISITION  
JAN 11 1961  
UNIVERSITY MICROFILMS  
SERIALS ACQUISITION  
300 N ZEEB RD  
ANN ARBOR MI 48106

932

第六中隊長  
大尉 中村 以下

485 (馬 300)

資 東

平 四

一、本隊は八、一二に於ては、  
三十三夜に於ては、  
二〇、八、一五、夕、大新法改革により  
「真那摩は手感に集結すべし」との電あり  
二〇、九、一四、手感に集結すべしと大  
本營經由の電報を麻屋大打電するも返信無  
し

第六中隊長  
大尉 中村 以下

485 (馬 300)

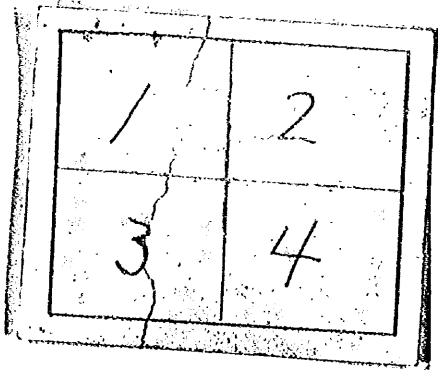
三六

資 東

平 四

二〇、八、一五、夕、又那波漢軍分により  
「漢部隊は善感に差向すべし」との電あり  
二〇、九、一四、李感に漢部隊完了し大  
本營經由の電報を編刷と打定するも返信無  
し

# 分割撮影ターゲット

分割した部分の撮影順序	
分割撮影した理由	A 3 判 以 上 の た め
上記のとおり分割撮影した事を証明する。	



隊名 工兵第三九聯隊

通稱號 藤六八六九

郵便所名

中三第	隊中二第	隊中一第	部	本	別	隊
中尉 陰野 源七	中尉 神田 茂樹	中尉 重田 己代治		中佐 今井 洗 副官 大尉 久野 勉	隊長名 (内は先代を示す)	隊
250	250	172			戦時人員	駐屯地
右 同	右 同	右 同		龍 海	平時	駐屯地
右 同	右 同	右 同		平 四	戦時	駐屯地
戦斗間の状況及損耗						
終戦後の人員變動						
作業大隊より入ソ連の變動						
六、一〇、四、十二、大 FO 全中在						
四、十二、大						
250						
計						
滿洲残留						
收容所名						
カザクスタン						
ナツシーザ						
四、五、五、五分所 一、二、三、五分所、五分所、五分所 (約三〇〇名) (第一中隊) 重田中尉第二分隊第三中隊 長として在在 久野大尉第二分隊隊長として在在(三、七現在)						
所入						
死亡						
滿洲ソ連						
計						
者						
数						
状況不明						





隊 小 材 器	隊 中 三 第	隊 中 二 第	隊 中 一 第
少尉 秋山	中尉 陸野 源七	中尉 沖田 茂樹	中尉 重田 巳代治
50	250	250	172
右 同	右 同	右 同	右 同
右 同	右 同	右 同	右 同

昭和十二年

九、一〇、四年十二次  
F〇今井中佐

250

ナツシーザ

四五地區第五分所  
一、四、地區第二分所に分  
ナ(約三〇〇名)  
(第一中隊)  
重田中尉第二分所第三中隊  
長として在任  
大野大尉第二分所大隊長と  
して在任(二二、七現在)